

「避難生活支援リーダー／サポーター」研修プログラム（案）

<プログラム概要>

研修内容	形式	所要時間	備考
①講義	オンデマンド形式	1 講義 20 分 7 コマ前後	受講者の都合の良いときに視聴可能
②避難所運営演習	集合形式	3 日間	自治体の指定避難所での実施を想定

※ 1 回の研修あたりの受講人数は、30～50 名程度を想定。

①講義（オンデマンド形式）

- 目的：「避難生活支援リーダー・サポーター（仮称）」が理解しておくべき基礎情報を習得すること
- 方法：LMS（インターネットやパソコン/スマートフォンで学習を行う e ラーニングシステム）を活用
受講者に、ID・パスワードを付与し、特定のシステム内で受講できるようにする
また、受講者のニーズに応じて、収録動画および資料を配布する上映会を実施する等、受講者が受講しやすい環境構築にご配慮いただくよう、開催地と調整する
- コンテンツ（案）
・テキストの内容の中で特に理解が必要な部分を訴求するほか理解を深めるための事例を紹介する

※講義時間は目安

	項目	講師（案）	コンテンツ概要
1	避難生活支援リーダー／サポーター育成の必要性	内閣府（防災担当）	（テキスト はじめに～P15）講義時間：10 分 ・はじめに （1）避難生活環境の向上がなぜ必要か／（2）避難生活支援の担い手の育成に向けて 1. 避難所・避難生活における社会課題と現状 （1）避難所の運営関係者および被災者が置かれがちな状況と支援の意義／（3）自治体と地縁組織等による避難所運営のための取り組み、避難所運営の質を上げるための重点課題 2. 本研修の目的と概要 （1）避難生活支援リーダー／サポーターとは／（2）避難生活支援リーダー／サポーター研修のねらい／（3）研修のプログラム（案）及び想定する研修受講者
2	ボランティア・支援者としての心構え、姿勢	栗田暢之氏（全国災害ボランティア支援団体ネットワーク代表理事）	（テキスト P27～33）講義時間：20 分 4. 避難生活支援リーダー／サポーターの役割と必要な心構え （1）「避難生活支援リーダー／サポーター」の存在が必要な理由と現在の課題／（2）避難所における「避難生活支援リーダー／サポーター」の役割／（3）「避難生活支援リーダー／サポーター」の心構えと

			姿勢／(5)「避難生活支援リーダー／サポーター」に期待される役割)
3	災害「支援」の基礎知識	阪本真由美氏（兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 教授）	(テキスト P17～25) 講義時間：20分 3. 災害「支援」の基礎知識 (3) 支援の種類／(5) 被災者に対する支援制度
4	避難所・避難生活における基礎知識	辛嶋友香里氏（ピースボート災害支援センター） 浦野愛氏（レスキューストックヤード） ※(6)：日本赤十字社に相談	(テキスト P33～43) 講義時間：20分 5. 避難所・避難生活の基礎知識 (1) 避難先の種類／(2) 避難所の役割と機能／(3) 避難所の運営／(4) 多種多様な避難者／(5) 避難所を支える様々な担い手(概要のみ)／(6) 支援者のセルフケア ※
5	多様な被災者への配慮とニーズ対応	辛嶋友香里氏（ピースボート災害支援センター）	(テキスト P44～47) 講義時間：20分 6. 多様な被災者への配慮とニーズ対応 (1) 被災地・被災者への理解／(2) 避難所において被災者がおかれやすい状況／(3) 被災者の心の変化／(4) 災害時における要配慮者支援(概要のみ))
6	避難所運営の知識とスキル	浦野愛氏（レスキューストックヤード）	①(テキスト P74～83) 講義時間：20分 8. 避難所運営の知識とスキル (1) 避難所運営のポイント／(2) 被災者支援の全体像／(3) 避難所運営の一日の流れ
		浦野愛氏（レスキューストックヤード） 辛嶋友香里氏（ピースボート災害支援センター）	②(テキスト P84～110) 講義時間：20分 8. 避難所運営の知識とスキル (4) 避難所運営の活動内容と環境整備の基礎知識(概要のみ)) 13項目を4つに分けてポイントを紹介 居住スペース(他生活スペース含む)、衛生環境、食事、情報)
7	日常からの取り組みの重要性	三谷 潤二郎氏（倉敷市人権推進室 主幹）／松岡武司氏（倉敷市社会福祉協議会） ※事例紹介	(テキスト P117～121) 講義時間：20分 10.日常からの取組の重要性 ※減災サイクル、地縁組織の取り組み、活動のイメージ／具体的な事例をふまえて紹介する

※「4 避難所・避難生活における基礎知識」は、頼政良太氏（JVOAD 避難生活改善に関する専門委員会 委員・被災地 NGO 協働センター）も候補とする

※「6 避難所運営の知識とスキル②」は、佐々木裕子氏（愛知医科大学看護学部在宅看護学 准教授）も候補とする。

②避難所運営演習

●目的：

- ・被災地、避難所の全体像を理解する
- ・避難生活支援リーダー・サポーターの心構えと姿勢を理解する
- ・避難生活支援リーダー・サポーターが身につけるべきコミュニケーションの基礎とスキルを理解する
- ・受講者同士の交流、相互理解
- ・避難生活支援リーダー・サポーター」が身につけるべき避難所運営の空間認識力、被災者の困りごとに気づく視点を理解する

●方法：実会場での講義および演習（ワークショップ）

●プログラム（案）

- ・1日目：13：00－17：00（4時間）を想定
- ・2日目：10：00－16：00（5時間）を想定
- ・3日目：10：00－16：00（5時間）を想定

※1日目～3日目は1ヶ月以内に実施するなど近い日程で調整していただくことを想定

※2日目・3日目は連続した日程を想定。連日が難しい場合でも、1週間以内に実施するなど、近い日程で調整していただくことを想定

※実施する自治体の要望にあわせて、プログラム（実施時間等）は適宜調整する

<1日目>

項目	コンテンツ概要
(1) 開会等 13:00~13:30 (30)	<ul style="list-style-type: none"> ・開会挨拶 ・研修のオリエンテーション
(2) 基礎講義① 13:30~13:50 (20)	<ul style="list-style-type: none"> ○避難生活支援リーダー・サポーターとは ・避難生活支援リーダー・サポーターの役割 ・避難生活支援リーダー・サポーターの心構えと姿勢 ※動画コンテンツの復習
13:50~14:00 (10)	休憩
(3) 基礎講義② 14:00~15:00 (60)	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な被災者の理解とその配慮 ・避難所において被災者がおかれやすい状況 ・多様な被災者の状況、立場、心の変化 ・被災者への配慮の方法
15:00~15:10 (10)	休憩
(4) ワークショップ 15:10~16:30 (80)	<ul style="list-style-type: none"> ○被災者の心情や状況の理解 ・被災者の置かれる状況付与をもとに、心情や困りごとを抽出・検討（受講者同士のチームビルディングを含む） ・解説・講評（様々な視点・解釈があることを理解）
(5) クロージング 16:30-17:00 (30)	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者同士のふりかえり ・今後の研修のプログラム紹介 ・閉会挨拶

<2日目>

項目	コンテンツ概要
(1) 開会等 10:00~10:20 (20)	<ul style="list-style-type: none"> ・開会挨拶 ・ワークショップのふりかえり ・研修のオリエンテーション
(2) 基礎講義① 10:20~10:50 (30)	<ul style="list-style-type: none"> ○避難所の全体像の理解 ・避難所に必要なスペースとその機能 ・一日の流れ、活動内容、運営する上での留意点 ・運営に関わる担い手の理解 <p>(講義後に、参加者同士での意見交換(理解醸成))</p>
10:50~11:00 (10)	休憩
(3) ワークショップ① 11:00~12:00 (60)	<ul style="list-style-type: none"> ○避難所の課題と生活環境の整備① ・<u>居住スペース(寝床・食事スペース)、トイレ等</u>を再現し、課題と生活環境の環境整備についてグループワークを行う
12:00~13:00 (60)	昼食・休憩
(3) ワークショップ① 続き 13:00~14:15(75)	<ul style="list-style-type: none"> ○避難所の課題と生活環境の整備①の続き ・グループワークの共有と解説
(4) ワークショップ② 14:15~15:15 (60)	<ul style="list-style-type: none"> ○避難所の課題と生活環境の整備② ・<u>受付、情報コーナー、衛生環境、福祉スペースその他生活場所等</u>を再現し、課題と生活環境の環境整備についてグループワークを行う
15:15~15:30 (15)	休憩
(4) ワークショップ② 続き 15:15~16:30(75)	<ul style="list-style-type: none"> ○避難所の課題と生活環境の整備②の続き ・グループワークの共有と解説
(5) クロージング 16:30~17:00 (30)	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者同士のふりかえり ・閉会挨拶

<3日目>	
項目	コンテンツ概要
(1) 開会等 10:00~10:20 (20)	<ul style="list-style-type: none"> ・開会挨拶 ・ワークショップのふりかえり ・研修のオリエンテーション
(2) 基礎講義① 10:20~11:00 (40)	<ul style="list-style-type: none"> ○対人コミュニケーション ・被災者への配慮 ・被災者への対応とポイント
(3) ワークショップ① 11:00~12:00 (60)	<ul style="list-style-type: none"> ○対人コミュニケーション ・被災者の置かれている状況（トイレ・食事等の課題）にあわせたロールプレイの実施
12:00~13:00 (60)	昼食・休憩
(3) ワークショップ① 続き 13:00~14:15(75)	<ul style="list-style-type: none"> ○対人コミュニケーションの続き ・グループワークの共有と解説
(4) 基礎講義② 14:15~14:55 (40)	<ul style="list-style-type: none"> ○避難所運営の担い手との連携・協働 ・被災者の困りごとの把握の重要性 ・情報共有・認識共有、合意形成の必要性
14:55~15:10 (15)	休憩
(5) ワークショップ② 15:10~16:30 (80)	<ul style="list-style-type: none"> ○避難所運営の担い手との連携・協働 ・避難所の運営者同士の情報共有のロールプレイの実施（受講者が当事者役、リーダー・サポーター役に分かれてロールプレイする） ・グループワークの共有と解説
(6) クロージング 16:30~17:00 (30)	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者同士のふりかえり ・閉会挨拶

※(3) ワークショップ①では、被災経験者や要配慮者を招き、協力いただくことを検討する。もしくは、要配慮者の立場に立つという感覚を身につけるために、当事者疑似体験セットなどの導入を検討する。